



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日
東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	13,465	9.8	805	20.0	812	20.9	525	16.8
2021年3月期第2四半期	12,264	△15.1	671	△4.6	671	△5.5	450	△13.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 559百万円(20.3%) 2021年3月期第2四半期 465百万円(△12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第2四半期	円 銭 250.26	円 銭 —
2021年3月期第2四半期	214.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	14,642	7,212	47.6
2021年3月期	14,716	6,763	44.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 6,974百万円 2021年3月期 6,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	0.00			
2022年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	4.8	1,399	△4.2	1,400	△3.9	922	17.0	439.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	2,100,000株	2021年3月期	2,100,000株
2022年3月期2Q	207株	2021年3月期	207株
2022年3月期2Q	2,099,793株	2021年3月期2Q	2,099,867株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症対策として、日本政府による緊急事態宣言のほか、三重県緊急警戒宣言及び三重県まん延防止等重点措置の発出により、経済活動の抑制が継続されておりましたが、従来より実施している既存顧客に対するフォロー活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移してはおりますが、世界規模の半導体不足による車両及び部品等の供給遅れ又は出荷停止等により業績に与える影響が懸念されております。

これらの結果、売上高は134億65百万円と前年同期と比べ12億円(9.8%)の増収、営業利益は8億5百万円と前年同期と比べ1億33百万円(20.0%)の増益、経常利益は8億12百万円と前年同期と比べ1億40百万円(20.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億25百万円と前年同期と比べ75百万円(16.8%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は134億65百万円と前年同期と比べ12億円(9.8%)の増収、営業利益は8億5百万円と前年同期と比べ1億33百万円(20.0%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、既存顧客からの受注は堅調に推移しておりますが、半導体不足の影響により一部商品及び部品の供給遅れ等が発生しております。国産新車販売台数は前年同期比0.1%減の2,310台となりました。また、輸入車においては、国産新車販売と同様の状況ではありますが、新商品投入の効果もあり、輸入車販売台数は前年同期比13.5%増の236台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比1.0%増の2,546台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移したことと、新車販売店舗における中古車販売が増加したことにより、中古車販売台数は前年同期比4.8%増の4,864台となりました。

これらの結果、売上高は129億19百万円と前年同期と比べ10億61百万円(8.9%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は7億68百万円と前年同期と比べ54百万円(7.6%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期比12.4%減の4,499台となりましたが、前第3四半期連結会計期間以降、鉄及び希少金属類の資源相場が大幅に上昇した状況が継続しているため資源関連売上が大幅に増加いたしました。また、輸出関連売上については、新型コロナウイルス感染症拡大以前の状況に回復しております。一方で、使用済自動車の入庫は、前年同期比30.5%減の3,887台となりました。これは、前第1四半期連結会計期間における中古車オークション市場の価格低迷により、使用済自動車の仕入が容易になったことで大幅に増加してはいたしましたが、当第2四半期連結累計期間においては中古車オークション市場の価格高騰の影響を受けたことにより減少いたしました。

これらの結果、売上高は5億45百万円と前年同期と比べ1億39百万円(34.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億55百万円と前年同期と比べ88百万円(131.2%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益は、営業外収益が増加し、営業外費用は、前年同期比における借入金残高減少のため支払利息の減少等がありました。これらの結果、経常利益は8億12百万円と前年同期と比べ1億40百万円(20.9%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は8億12百万円と前年同期と比べて1億40百万円(20.9%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は2億56百万円となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は5億25百万円と前年同期と比べ75百万円(16.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より73百万円減少し、146億42百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1億31百万円、建物及び構築物の減少92百万円、商品及び製品の増加58百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より、5億22百万円減少し74億30百万円となりました。これは主に、買掛金の減少4億30百万円、借入金の減少53百万円、未払法人税等の減少50百万円、前受金の増加90百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より、4億49百万円増加し、72億12百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億25百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前年同期と比べ26百万円減少し、7億50百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期と比べ1億64百万円減少し、8億33百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8億12百万円、減価償却費3億54百万円、棚卸資産の減少額4億14百万円、前受金の増加額90百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少額4億30百万円、法人税等の支払額2億91百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は前年同期と比べ2億42百万円増加し、7億97百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億93百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は前年同期と比べ3億60百万円減少し、1億67百万円となりました。これは主に短期借入金の増加額1億円等による資金の増加と、長期借入金の返済による支出1億53百万円、配当金の支払額1億4百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2021年5月14日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	962,077	830,891
受取手形及び売掛金	393,052	429,769
商品及び製品	2,608,236	2,667,171
仕掛品	2,531	3,675
原材料及び貯蔵品	57,858	39,254
その他	226,732	236,420
貸倒引当金	△145	△141
流動資産合計	4,250,344	4,207,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,643,472	2,551,205
土地	5,535,455	5,535,455
その他（純額）	1,176,561	1,252,290
有形固定資産合計	9,355,489	9,338,952
無形固定資産	52,661	48,365
投資その他の資産	1,057,625	1,048,175
固定資産合計	10,465,776	10,435,492
資産合計	14,716,120	14,642,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,728,993	1,298,640
短期借入金	2,282,565	2,332,230
未払法人税等	314,760	263,832
前受金	1,397,071	1,487,591
賞与引当金	154,568	156,335
その他	540,309	443,981
流動負債合計	6,418,268	5,982,609
固定負債		
長期借入金	401,100	298,110
役員退職慰労引当金	310,831	306,653
退職給付に係る負債	753,779	770,781
その他	68,794	71,886
固定負債合計	1,534,506	1,447,432
負債合計	7,952,774	7,430,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	4,233,030	4,653,555
自己株式	△378	△378
株主資本合計	6,542,723	6,963,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,439	7,916
退職給付に係る調整累計額	2,539	3,100
その他の包括利益累計額合計	6,979	11,017
非支配株主持分	213,644	238,227
純資産合計	6,763,346	7,212,492
負債純資産合計	14,716,120	14,642,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	12,264,350	13,465,056
売上原価	9,675,597	10,629,208
売上総利益	2,588,753	2,835,848
販売費及び一般管理費	1,917,440	2,030,605
営業利益	671,312	805,242
営業外収益		
受取配当金	3,806	4,637
受取賃貸料	5,700	5,700
受取保険金	3,847	4,698
受取負担金	1,041	—
その他	3,281	4,937
営業外収益合計	17,676	19,973
営業外費用		
支払利息	12,313	9,386
支払手数料	3,939	2,300
その他	779	1,239
営業外費用合計	17,033	12,927
経常利益	671,956	812,288
税金等調整前四半期純利益	671,956	812,288
法人税、住民税及び事業税	192,189	239,877
法人税等調整額	17,571	16,750
法人税等合計	209,760	256,628
四半期純利益	462,195	555,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,128	30,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	450,067	525,514

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	462,195	555,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,217	3,477
退職給付に係る調整額	757	688
その他の包括利益合計	2,975	4,165
四半期包括利益	465,170	559,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452,891	529,553
非支配株主に係る四半期包括利益	12,278	30,273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	671,956	812,288
減価償却費	336,648	354,170
賞与引当金の増減額(△は減少)	△604	1,766
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,445	△4,178
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,371	17,989
受取利息及び受取配当金	△3,862	△4,685
支払利息	12,313	9,386
売上債権の増減額(△は増加)	82,135	△36,717
棚卸資産の増減額(△は増加)	74,034	414,023
仕入債務の増減額(△は減少)	57,567	△430,352
前受金の増減額(△は減少)	80,965	90,519
その他	△87,554	△94,521
小計	1,250,417	1,129,689
利息及び配当金の受取額	3,862	4,685
利息の支払額	△12,191	△9,368
法人税等の支払額	△244,212	△291,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	997,876	833,639
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△553,331	△793,503
投資有価証券の取得による支出	△2,388	△3,001
その他	1,210	△808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554,509	△797,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△214,974	△153,325
配当金の支払額	△104,940	△104,912
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△2,425	△3,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△528,030	△167,512
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,663	△131,185
現金及び現金同等物の期首残高	862,380	882,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	777,716	750,861

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,858,067	406,283	12,264,350	—	12,264,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,487	12,459	19,946	△19,946	—
計	11,865,554	418,742	12,284,297	△19,946	12,264,350
セグメント利益	714,427	67,193	781,621	△110,308	671,312

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,308千円には、セグメント間取引消去544千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,852千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,919,074	545,982	13,465,056	—	13,465,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,000	11,305	15,305	△15,305	—
計	12,923,075	557,287	13,480,362	△15,305	13,465,056
セグメント利益	768,740	155,339	924,079	△118,837	805,242

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,837千円には、セグメント間取引消去347千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,184千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。